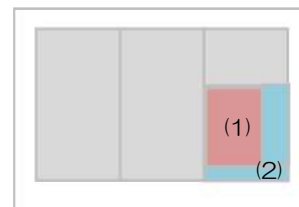


<1年生対象>

1 Aセメスターの成績表の見方



(1) 必要単位数・不足単位数

- この項目は表示されません。
- 1年次の1年間（1Sセメスター・1Aセメスター）在学していることが、1年生から2年生に進級するための要件です。
ただし、本人の学修計画上の理由により、自主的に留年を希望する場合は、定められた期間に「自主留年届」を提出することにより、留年することができます。

(2) 基本平均点

- 進学選択で用いる算出方式による基本平均点を表示しています。（『履修の手引き』p.56 参照）
- 表の単位数に満たない場合、不足分の単位が不可の科目の場合はその評点が、欠席または未履修の科目（2S1 ターム開講の必修科目を含む）の場合は0点が算入されます。

★	文一	文二	文三	理一	理二	理三
基礎科目						
既修外国語 ※1	5	5	5	5	5	5
初修外国語	6	6	6	6	6	6
情報	2	2	2	2	2	2
身体運動・健康科学実習	2	2	2	2	2	2
初年次ゼミナール文科	2	2	2	—	—	—
社会科学 ※2	8	8	4	—	—	—
人文科学 ※3	4	4	4	—	—	—
基礎実験 ※4	—	—	—	3	3	3
数理科学 ※4	—	—	—	12	10	10
物質科学 ※5	—	—	—	10	10	10
生命科学 ※6	—	—	—	1	4	4
総合科目 ※7 ※8	21	21	25	15	15	15
計（ <u>取得単位数欄に記載★★</u> ）	50	50	50	56	57	57

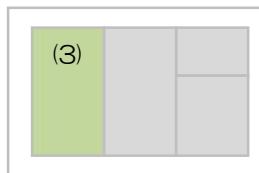
【注意】

- ★ 基本平均点計算において重率 1 で計算した科目の横に「*」を表示しています。
2 単位科目のうち 1 単位のみ重率 1 で算入する場合は科目の横に「△」を表示しています。
基本平均点計算において、重率 0.1 で計算される科目は、以下の科目です。
系別の単位取得条件以外で 1A セメスターまでに単位取得した基礎科目
系別の単位取得条件以外で 1A セメスターまでに履修科目登録した展開科目（社会科学ゼミナールは除く）・総合科目
- ★★「取得単位数」欄には、科類ごとに一律で、上表の「計」欄に記載の単位数（基本平均点の算出において重率 1 で算入された単位数）が表示されます。現時点での実際の取得単位数とは異なります。
なお、休学等により上表の計と異なる単位数が記載されている場合があります。

- ※1 英語・日本語以外を既修外国語として履修している場合は、6 単位で計算しています。
- ※2 社会科学は、前期課程修了要件で定められた科類ごとの要件を含め、成績上位 8 単位（文三生は上位 4 単位）で計算しています。
- ※3 人文科学は、前期課程修了要件で定められた科類ごとの要件を含め、成績上位 4 単位で計算しています。
- ※4 基礎実験および数理科学は、任意選択科目を除いた単位数で計算しています。
（基礎実験のうち、2S1 タームに開講される必修科目 1 単位分については 0 点で計算されています。）
- ※5 物質科学のうち、2S1 タームに開講の必修科目 2 単位分については 0 点で計算されています。
- ※6 生命科学のうち、2S1 タームに開講の必修科目 1 単位分（理一生）については 0 点で計算されています。
- ※7 総合科目は、文一・二生は成績上位 21 単位、文三生は上位 25 単位、理科生は成績上位 15 単位
（いずれも前期課程修了要件で定められた科類ごとの単位取得条件を含む）で計算しています。
- ※8 総合科目 D 系列「スポーツ・身体運動実習」、「スポーツ・身体運動実習Ⅱ」、「スポーツ・身体運動実習Ⅰ（PEAK）」、「スポーツ・身体運動実習Ⅱ（PEAK）」については、基本平均点に算入されているのは、合わせて 2 単位までです。

(3) 平均合格科目の表示

- 平均合格科目は、3月下旬（予定）の成績の原評価（点数）公開以降に、各自、平均合格の条件を満たしているかを必ず確認し、次セメスター以降で再履修または他クラス聴講する必要のある科目を履修することになります。



<平均合格科目とその条件>（次ページ計算例および『履修の手引き』p.43 参照）

※ 既修外国語（英語・日本語）単位数5単位：条件1. かつ条件2.

条件1. 1 Sセメスター（1S1 ターム・1S2 ターム）～1 Aセメスター（1A1 ターム・1A2 ターム）の成績の平均が50 点以上

条件2. 1 Aセメスター（1A1 ターム・1A2 ターム）の成績の平均が50 点以上

なお、条件1、条件2 のいずれも単位数を加味した加重平均による（次ページ計算例参照）。

※ 既修外国語（英語以外）および初修外国語 単位数6単位：条件3. かつ条件4. かつ条件5.

条件3. 1 Sセメスターの成績の平均が40 点以上

条件4. 1 Aセメスターの成績が40 点以上

条件5. 1 Sセメスター～1 Aセメスターの成績の平均が50 点以上

なお、既修日本語を初修外国語相当で履修している場合もこの条件で考えます。

※ 身体運動・健康科学実習 単位数2単位：2つの実習の成績の平均が50 点以上

<例>

科目	教員	開講期間	単位	成績
既修外国語				
英語			5	可
*英語一列①	×× ××	24.04～24.05		優
*英語一列②	×× ××	24.10～24.11		不可
*英語二列W	×× ××	24.04～24.07		良
*英語二列S	×× ××	24.11～25.01		欠席
初修外国語				
スペイン語			-2	-38
*スペイン語一列①	×× ××	24.04～24.07		可
*スペイン語一列②	×× ××	24.10～25.01		欠席
*スペイン語二列	×× ××	24.04～24.07		可
身体運動・健康科学実習			2	良
*身体運動・健康科学実習	×× ××	24.04～24.07		良
*身体運動・健康科学実習	×× ××	24.10～25.01		良

【注意】

マイナス表示もなく、「可」と表示されている場合でも平均合格していないケースがあります。

この例の場合、1 Aセメスター科目が50 点を下回っているため、5 単位「可」の表示でも平均合格していません。

1 Aセメスター成績の平均が50 点未満の場合、不足単位については2 Sもしくは2 Aセメスターに「他クラス聴講」をする必要があります。

マイナス表示になっている場合、不足単位数と、平均合格に対する不足点を意味します。

この例の場合、平均合格に必要な150点（3科目×50点=150点）に対し、38点不足していることを表しています。

「英語」は1 単位科目と2 単位科目（英語二列W）が存在するため、平均合格に必要な250点（5単位×50点）に対し何点不足しているかを表しています。

平均合格の対象科目は、講義ごとの単位数は表示されません。

原評価（点数）に基づく平均合格の確認方法は以下のとおりです。

< 例 >

科目	開講期間	単位	成績
英語一列①	24. 04～24. 05 (1S1)	1 単位	50 点
英語一列②	24. 10～24. 11 (1A1)	1 単位	55 点
英語二列 S	24. 06～24. 07 (1S2)	1 単位	60 点
英語二列 W	24. 10～25. 01 (1A)	2 単位	43 点

◎条件 1.

1 S セメスター（1S1 ターム・1S2 ターム）～1 A セメスター（1A1 ターム・1A2 ターム）の成績の平均が 50 点以上

【計算式】

$$\frac{(50 \text{ 点} \times 1 \text{ 単位}) + (55 \text{ 点} \times 1 \text{ 単位}) + (60 \text{ 点} \times 1 \text{ 単位}) + (43 \text{ 点} \times 2 \text{ 単位})}{1 \text{ 単位} + 1 \text{ 単位} + 1 \text{ 単位} + 2 \text{ 単位}} = 50.2 \text{ 点}$$

◎条件 2.

1 A セメスター（1A1 ターム・1A2 ターム）の成績の平均が 50 点以上

【計算式】

$$\frac{(55 \text{ 点} \times 1 \text{ 単位}) + (43 \text{ 点} \times 2 \text{ 単位})}{1 \text{ 単位} + 2 \text{ 単位}} = 47 \text{ 点}$$

この例の場合、
条件 1：満たしている
条件 2：満たしていない
→平均合格していない